



柏崎市立博物館 学芸員

高橋 深雪

TAKAHASHI MIYUKI

1973年 柏崎市出身

2019年 柏崎市立博物館学芸員として勤務

赤坂山公園内にある柏崎市立博物館は1986(昭和61)年の開館から今年で34年目になる。

市民にとってはこの時季、赤坂山公園の桜と共になじみ深い施設。「ぜひ花見のついでや休憩場所として気軽に立ち寄ってほしい」と話すのは、同博物館に勤務する学芸員の高橋深雪さん。以前紹介した、角田ゆりあ学芸員が担当する春季企画展のサポート役を務めている。

4月25日から始まる春季企画展「みんな元素でできている」は、周期律発見150年を記念した国際周期表年特別展(巡回展)を開催。様々な周期表のパネル展示や日本が命名した新元素『ニホニウム(Nh)』など、近年注目を集めている元素の仕組みや性質を紹介する。柏崎技術開発振興協会の後援を受けて、元素を卓越した技術により私たちの暮らしを支える製品に加工する『柏崎の工業』コーナーも登場。また、体験装置を使い実際に触れて学んだり、立体周期表「からくるりん」製作のワークショップなど盛りだくさんの内容。さらにゴールデンウィーク期間にはプラネタリウムの新番組を投影する予定だ。感染症予防対策を

行いながら、存分に施設を楽しんでいたきたいと話す。

高橋さんは柏崎市出身。日本大学の建築学科で建築物の歴史やデザイン、意匠に加え、保存・修復学を学んだ。卒業後は民間のコンサルタント会社の研究所で文化財の調査や修復の仕事に長く携わり、世界遺産の修復にも多く関わった。その後、世田谷区の次太夫掘公園民家園の建築学担当として勤務しながら日大理工学部のアンコール遺跡群修復プロジェクトにも参加。世界遺産となった高野山のバッファゾーン整備に関わるオファーを受け、3年間の仕事を無事に終えて柏崎に戻った。

5年前から市の職員となり、昨年から学芸員として博物館に勤務。近現代における柏崎・刈羽の石油開発や産業構造、都市基盤整備についての講演や博物館の様々な業務に携わり、現在文化財となっている古い建物を長寿命化できる修理の方法や仕組みを見直したいと考えている。

さて、高橋さんが次に準備を進めているのは夏季の企画展。柏崎出身の造形作家・品川匠作品のペーパークラフトを実際に体験したり、展示手法にも工夫を凝らして、絵本「ミック!」の世界を収蔵美術品で立体化したいと計画中。夏休みの宿題をサポートする楽しい企画展だ。「暑い夏には親子で涼みがてら博物館に来て夏休みの課題に役立ててほしい」と笑顔で話してくれた。

春季企画展

みんな元素で  
できている  
—元素と周期表の世界—  
4.25<sup>+</sup>-5.31<sup>+</sup>

ワークショップ

立体周期表  
「からくるりん」を作ろう  
5.2<sup>+</sup>-6<sup>+</sup>  
10:00~14:00~  
各先着15名【無料】  
ワークショップで製作する、  
立体周期表「からくるりん」

お問い合わせ

柏崎市立博物館

柏崎市緑町8-35  
TEL 0257-22-0567

開館時間 9:00~17:00 (最終入館は16:30)  
入館料 常設展示 / 一般300円 小中学生無料  
プラネタリウム / 一般200円 小中学生100円  
常設・プラネタリウム共通 / 一般400円

\*新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、  
予定が変更になる場合があります。

